



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL https://www.oug.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	255,834	1.6	2,876	△24.8	3,471	△14.0	2,409	△13.5
2023年3月期第3四半期	251,907	10.1	3,823	28.9	4,035	27.5	2,785	93.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,107百万円(13.4%) 2023年3月期第3四半期 2,739百万円(144.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	447.63	—
2023年3月期第3四半期	505.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	106,996	28,657	26.8	5,323.84
2023年3月期	81,988	25,927	31.6	4,816.39

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,657百万円 2023年3月期 25,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 10円00銭

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 15円00銭

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	1.5	2,700	△32.3	3,500	△18.1	3,000	△2.6	557.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,562,292株	2023年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	179,383株	2023年3月期	179,015株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,383,085株	2023年3月期3Q	5,509,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法の「5類」に移行し、経済活動の回復は加速しており、所得情勢には回復への足跡がみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には持ち直しの動きがみられます。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の上昇に賃金の上昇が追いつかないなど厳しい状況にあります。また、消費者購買行動では、生活防衛意識を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の正常化が進み、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しつつあるものの、内食関連需要は消費者物価の高止まり等から総じて伸び悩んでいます。

また、価格動向については、円安やコスト上昇などを反映して、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は一部に下落はあるものの全般的に上昇し、これに呼応して販売価格も上昇しています。

業界環境としては、価格上昇により需要が全般的に伸び悩む中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にあります。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業（取引）の拡大」、「加工事業（取引）の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく取り組んでまいりました。

当第3四半期連結結果計期間の経営成績は、売上高は255,834百万円（前年同四半期比101.6%）となりました。損益面では、売上総利益は21,723百万円（前年同四半期比97.2%）となり、営業利益2,876百万円（前年同四半期比75.2%）、経常利益3,471百万円（前年同四半期比86.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,409百万円（前年同四半期比86.5%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売が回復傾向にある中、販管費の節減に努めましたが、主要商材の一部に相場下落があり、当該在庫の早期販売を積極的に進めた結果、売上高153,989百万円（前年同四半期比99.3%）、セグメント利益1,538百万円（前年同四半期比72.9%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊・インバウンド関連需要が回復しつつあることに加え、商品調達コスト等が上昇する中、販売価格への価格転嫁を進めたことにより売上総利益率が改善し、売上高101,846百万円（前年同四半期比104.4%）、セグメント利益1,333百万円（前年同四半期比222.6%）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、養殖ブリの在池量が多く販売価格が低下したことに加え、餌料の高騰等による生産原価の上昇もあり、売上高6,433百万円（前年同四半期比88.1%）、セグメント損失196百万円（前年同四半期はセグメント利益1,088百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、ホテル・ブライダル向けの販売は回復傾向にあるものの、輸入原料の調達コストが高止まりしていることに加え、カット野菜の販売が減少したこと等により、売上高3,328百万円（前年同四半期比97.3%）、セグメント損失44百万円（前年同四半期はセグメント損失42百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、センター業務売上およびギフト作業売上が増加したことにより、売上高1,314百万円（前年同四半期比104.4%）、セグメント利益16百万円（前年同四半期比182.3%）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高3,925百万円（前年同四半期比120.1%）、セグメント利益95百万円（前年同四半期はセグメント損失47百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて25,007百万円増加し、106,996百万円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加18,051百万円、棚卸資産の増加4,976百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて22,278百万円増加し、78,338百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加15,269百万円、借入金の増加6,806百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて2,729百万円増加し、28,657百万円（自己資本比率26.8%）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加2,035百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月9日公表の連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期 通期業績予想および配当予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741	3,322
受取手形及び売掛金	30,549	48,600
商品及び製品	29,145	34,093
原材料及び貯蔵品	275	304
その他	861	1,313
貸倒引当金	△82	△120
流動資産合計	63,490	87,512
固定資産		
有形固定資産	10,663	10,455
無形固定資産	906	1,128
投資その他の資産		
投資有価証券	5,008	6,023
その他	2,249	2,140
貸倒引当金	△331	△265
投資その他の資産合計	6,927	7,899
固定資産合計	18,497	19,483
資産合計	81,988	106,996
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,778	36,048
短期借入金	17,753	24,378
1年内返済予定の長期借入金	2,535	3,005
未払法人税等	822	394
賞与引当金	760	361
その他	3,866	4,689
流動負債合計	46,516	68,877
固定負債		
長期借入金	6,500	6,212
退職給付に係る負債	2,335	2,310
役員退職慰労引当金	112	94
その他	594	843
固定負債合計	9,543	9,461
負債合計	56,060	78,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	13,002	15,037
自己株式	△442	△443
株主資本合計	25,145	27,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,217	1,930
繰延ヘッジ損益	△31	△38
土地再評価差額金	△450	△453
退職給付に係る調整累計額	47	39
その他の包括利益累計額合計	782	1,477
純資産合計	25,927	28,657
負債純資産合計	81,988	106,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	251,907	255,834
売上原価	229,567	234,111
売上総利益	22,339	21,723
販売費及び一般管理費	18,516	18,847
営業利益	3,823	2,876
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	140	179
受取賃貸料	131	140
補助金収入	50	371
その他	154	117
営業外収益合計	477	809
営業外費用		
支払利息	151	143
賃貸費用	68	65
その他	46	4
営業外費用合計	265	213
経常利益	4,035	3,471
特別利益		
投資有価証券売却益	113	19
受取保険金	81	244
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	195	264
特別損失		
災害による損失	98	275
固定資産除却損	5	48
特別損失合計	103	324
税金等調整前四半期純利益	4,127	3,412
法人税、住民税及び事業税	1,131	834
法人税等調整額	211	167
法人税等合計	1,342	1,002
四半期純利益	2,785	2,409
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,785	2,409

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,785	2,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	712
繰延ヘッジ損益	△132	△6
退職給付に係る調整額	△38	△8
その他の包括利益合計	△45	697
四半期包括利益	2,739	3,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,739	3,107
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,038	94,780	4,349	2,010	420	249,598	2,308	251,907	—	251,907
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,100	2,773	2,950	1,410	839	15,074	959	16,034	△16,034	—
計	155,138	97,553	7,300	3,421	1,259	264,673	3,268	267,941	△16,034	251,907
セグメント利益 又は損失(△)	2,111	599	1,088	△42	9	3,766	△47	3,719	104	3,823

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額104百万円には、セグメント間取引消去642百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△538百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	146,243	100,000	4,134	2,061	430	252,871	2,963	255,834	—	255,834
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,745	1,846	2,298	1,267	883	14,041	962	15,003	△15,003	—
計	153,989	101,846	6,433	3,328	1,314	266,912	3,925	270,838	△15,003	255,834
セグメント利益 又は損失(△)	1,538	1,333	△196	△44	16	2,648	95	2,744	132	2,876

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額132百万円には、セグメント間取引消去706百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△574百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。